

# 山国川圏域 流域治水

まちの魅力を未来へつなぐ  
これからの治水

山国川流域治水  
知る  
知らせる

## ⑪流域治水概要編

### 守りたい山国川圏域の豊かな自然環境と地域資源

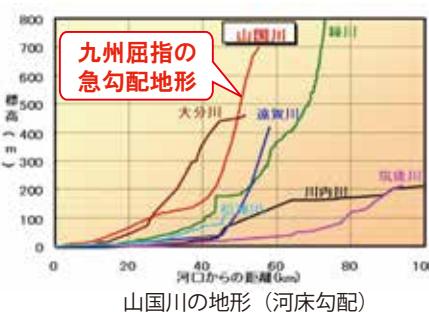
山国川圏域は、豊かな自然環境と美しい景観がみられ、国指定の名勝耶馬溪や日本遺産にも認定された青の洞門・競秀峰・羅漢寺・石橋群・中津城などの文化・歴史的な地域資源に恵まれています。また、圏域の自然や地域資源は、産業・観光・自然体験など、私たちの豊かな暮らしを支えています。



### 山国川圏域の特性とリスク

火山岩を主とした地質は急峻な地形・美しい景観を形成する一方で崩れやすく、豪雨時は川の水位が急激に上昇する特性があります。

また、流域面積の約9割を山地が占め、人口と資産が川沿いや河口部の狭い平地に集中しており、豪雨時に山からの流木や土砂が川に流れ込むと、洪水被害が大きくなるリスクがあります。

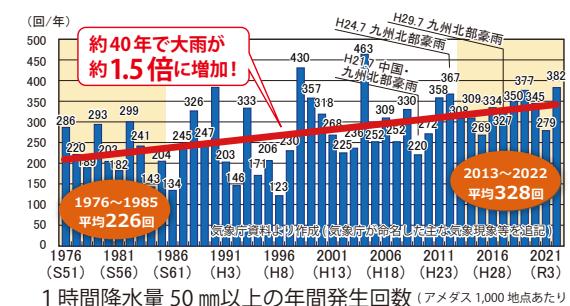


### 近年の気象の状況と山国川圏域の豪雨

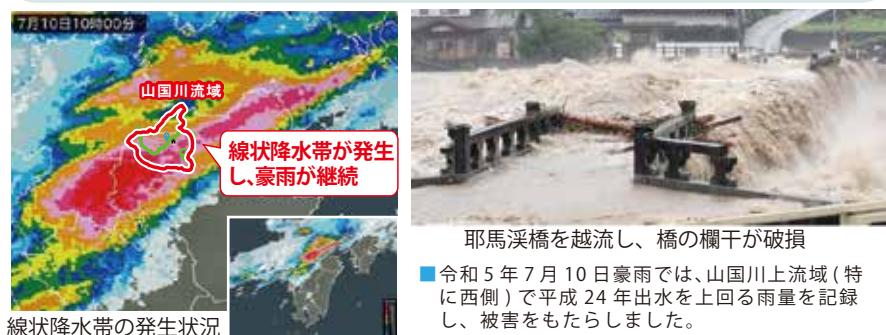
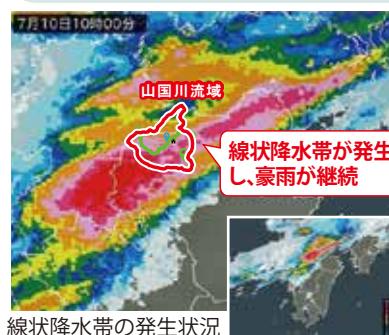
近年、世界各地で発生している洪水や干ばつなどの災害は、地球温暖化が影響していると言われています。温暖化が進むと、日本でもこれまで以上に豪雨が増えたり災害が激甚化する恐れがあります。山国川圏域でも、平成24年九州北部豪雨・平成29年・令和5年7月など、近年たびたび豪雨に見舞われています。

#### 気候変動による雨の降り方の変化

時間雨量50mmを超える短時間強雨の発生件数が増加しています。



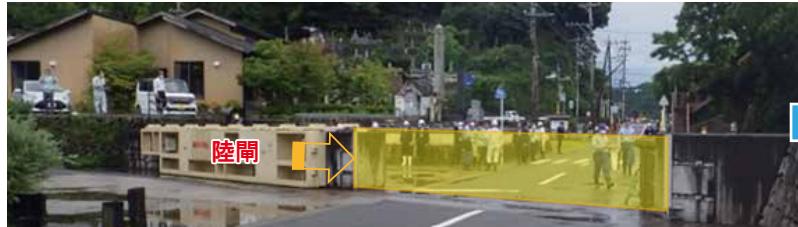
#### 令和5年7月豪雨時の山国川の状況



# 河川整備等により災害を防ぐ取組みの効果

山国川圏域では、河川整備等の様々な災害対策を行っており、令和5年7月豪雨でも被害の低減効果を発揮しました。しかし、今後の気候変動でさらに豪雨が頻発すると、河川整備等だけで被害を防ぐことは難しくなります。

## 河川整備による治水効果の例(令和5年7月豪雨時)



陸閘の整備(洪水時にスライドさせて、堤防の機能を持たせます)



陸閘が効果を発揮し、山国川からの浸水を防ぎました！

## 全国で、まちの魅力を未来へつなぐ、みんなで守る「流域治水」始まる

気候変動に備え、これからも山国川圏域の恵みを受けて暮らしていくために、河川も含む圏域全体で、行政、住民、企業等、それぞれができる取組を行い協働する「流域治水」を進めていく必要があります。



災害の規模が大きすぎて整備が追いつかない…！



みんなでなんとかしましょう！

### 簡単な取組からやってみませんか？！



流域治水の主な対策（イメージ図）

#### ① 水没を防ぐ・減らす

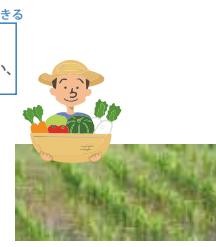
- 県・市・町・企業・住民 ができる  
**雨水貯留機能の拡大**  
雨水貯留施設、ため池、田んぼダム、雨水タンクなど
- 国・県・市・町・利水者 ができる  
**流水の貯留**  
治水ダム、利水ダムの調節、遊水池など
- 国・県・市・町・利水者・住民 ができる  
**氾濫水を減らす**  
堤防強化、清掃活動（ゴミ拾い、側溝清掃）など



雨水タンク

#### ② 被害にあう人・ものを減らす

- 県・市・町・企業・住民 ができる  
**リスクの低いエリアへの移転**  
土地利用規制、移転促進など
- 国・県・市・町 ができる  
**氾濫範囲を減らす**  
二重堤防整備、自然堤防の保全など



田んぼダム

#### ③ 被害を減らす・早期復旧・復興への備え

- 企業・住民 ができる  
**住まい方の工夫**  
不動産取引時の水害リスク情報提供、保険など
- 国・県・市・町 ができる  
**避難体制の強化**  
防災教育、長期予報、リアルタイム浸水把握など
- 企業・住民 ができる  
**経済被害の最小化**  
工場や建築物の浸水対策など



清掃活動



校庭、公園、駐車場の雨水貯留施設

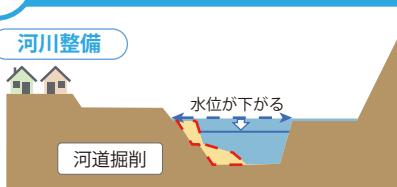
## 山国川圏域でも、流域治水、始まっています

山国川圏域では、河川・森林・農地等の特徴を捉え、次の3つの柱を基軸にして流域治水を進めていきます。

## 山国川圏域流域治水 3つの柱

### 柱1 河川の治水対策

#### 河川整備



河道掘削や築堤整備などの河川整備により河道の流下能力を上げます。

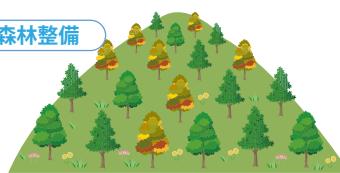
#### 河川の維持管理



堤防や護岸などの点検・修繕をします。  
河川内の樹木や堆積土砂が洪水の際に流れを妨げないように対策します。

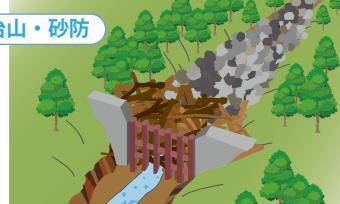
### 柱2 流木・土砂対策

#### 森林整備



間伐・育林等の適切な管理により保水力を保ち、流木や土砂が流れ出にくい森林を維持します。

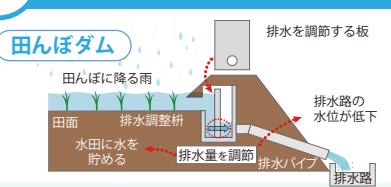
#### 治山・砂防



山から流木や土砂が下流に流出しないように、治山・砂防ダムや流木捕捉施設を整備します。

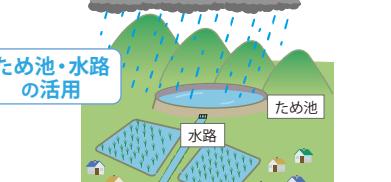
### 柱3 小規模河川の氾濫抑制対策

#### 田んぼダム



水田の排水口に調節板を設置し、一時的に水田に雨水を貯め、水路の水位上昇を遅らせます。

#### ため池・水路の活用



ため池や水路の水を大雨の前に放流して水位を下げ、雨水を貯められるようにします。また、排水施設で水路の水を速やかに河川に排水します。

